

平成25年度 五泉市総合部 活動報告

部長 川上 弘宣

1 研究主題

ふるさと五泉の「ステキ」を伝えよう

2 研究の概要

五泉市はその名の通り、豊かで清らかな水に恵まれた泉の里です。市内のあちこちで湧き水を見ることができます。それ以外にも、五泉には「ステキ」な名所がたくさんあります。市内の各小学校でもそれらを生かした総合的な学習が盛んです。そこで、今年度の五泉市小教研総合学習部では、「ふるさと五泉のステキを伝えよう」をテーマに、実地見学や授業実践などの活動をしてきました。

3 研究の実際

(1) 五泉の「ステキ」を実地見学

五泉市の「水」について教師自身の理解を深めようと、総合部では川東小学校のビオトープや「どばしっこ清水」などへ実地見学に出かけました。川東小のビオトープは、湧き水が引いてあり、水草が水を浄化し、中にはトゲソも元気に泳いでいます。「どばしっこ清水」では、地元住民の方と協働で建てられた「湧水小屋」を見学し、こんこんと湧き出る水を賞味しました。



(2) 五泉の「ステキ」で公開授業

10月には、川東小学校3年渡邊学級において、「ステキがいっぱい 川東」をテーマとした公開授業研修を行いました。全員の総合部員が当事者意識をもって参観できるように、授業者からはアウトラインのみを提案いただき、部員全員で立案したものです。その結果、子どもたちが1学期に調べた川東の名所、「吉清水」「小山田の桜」「咲花温泉」「切畑の銀杏」をさらに追求させるために、調べたことを発表する場面を設定することとなりました。「授業参観で、川東のステキを保護者に伝えよう。」と子どもたちに投げかけるのです。また、発表の内容だけではなく発表する方法も子どもたちに考えさせた方がよい、との意見が出され、それも採用されました。その際、どんな発表方法があるかイメージがもてないことが予想されるため、他の地域のPR方法を紹介することとなりました。

授業当日。最初に授業者は、「皆さんとお家の人とは、どちらが川東のステキを知っているでしょうか？」と問いました。子どもたちのほとんどは「大人だからお家のの方が詳しい」と答えました。そこで授業者は、保護者に行ったアンケート結果の一覧を黒板に貼って見せました。すると、大人でも案外地域のステキを知らないことが確認されました。子どもたちからは、「ぼくたちの方が詳しい」「お家の人に教えてあげたい」という声が出されました。そこで授業者は、「12月の授業参観で川東のステキをお家の人に伝えよう」と提案しました。

その後授業者は、同じ場所を選んだ子どもたち同士でグループを編成し、「どんな方法で伝えたい？」と聞きました。その過程で「こんな方法で伝えている所もあるよ。」として、クイズや各地のゆるキャラ、歌、劇、紙芝居、キャッチフレーズなどをテレビで紹介しました。今人気の「ふなっしー」や「ガッター」、果ては、「お・も・て・な・し」のキャッチフレーズまでが登場するのを見て、子どもたちは大喜び。「ぼくたちもやってみたい」との声があがりました。そこで子どもたちは、どんな方法で伝えるのかをグループごとに話し合いました。



4 終わりに

私たちは五泉市に勤務していながら、五泉のよいところを十分に知っているとは言えないのが現状です。その意味で、今年度の実地見学と授業研究は、五泉のよいところを見付けたり、子どもたちから教えてもらったりできる有意義なものでした。五泉の「ステキ」をたくさん見付け、ふるさと五泉に愛着と誇りをもつ子どもを育てていきたいとの思いを改めてもつことができたと思います。